



会長挨拶



SI熊本会長 塚本 敬子

国際ソロプチミストは、1921年にアメリカで創設された女性によるボランティア団体です。現在、熊本県には9クラブがあり、私たち「国際ソロプチミスト熊本」は1979年に熊本県で最初に発足したクラブで、今期で35周年を迎えました。

近年は、特に国際ソロプチミストの世界共通の使命である「女性と女児の生活の向上」を目指して活動しています。顕彰事業として、困難に立ち向かっている女性を応援し、また、永年地域社会に貢献した女性を称えています。発足時から「再春荘つくし病棟」への訪問奉仕活動を行い、国際支援としては、タイ・アユタヤの養護施設の女児達の生活環境が少しでも良くなるよう援助しています。

2010年にはSI熊本「夢を生きる就学援助」プロジェクトを立ち上げ、女子高校生が夢を実現するために、大学や専門学校へ進学する際の入学準備金を差し上げています。これにより、4年間で17名の方の支援をすることができました。

これらの活動の資金を得るためにチャリティー事業として、今期は12月に「三遊亭好楽独演会」を実施し、1000名以上の方々にご協力いただきました。

私たちは、地域の皆様の温かいご理解とご協力により、奉仕活動を行うことができ、会員一同心より感謝しております。今後とも、私たちの活動にご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

女性と女児のために

SI熊本「夢を生きる就学援助」

SI熊本「夢を生きる就学援助」は、自分自身の将来の夢（職業）を実現するために、大学、短期大学、専門学校へ進学を希望している熊本市内の女子高校生を対象に、入学時に経済的な支援をするプロジェクトです。クラブ認証35年、そしてプロジェクト開始から4回目となる今年度は、チャリティー事業として、昨年12月8日（土）に「三遊亭好楽独演会」を県立劇場にて開催し、その収益金で4名の方に20万円ずつを贈呈することができました。贈呈者を決めるにあたり、熊本市内29の高校へ9月末に募集要綱を送付し、15校より応募がありました。

応募者はいずれも経済的困難な中、自分の目標を明確に持ち、努力している方々ばかりでした。申請書、校長先生の推薦書を基に厳正な選考を行いました。その結果、以下の方々に決定し、3月定例会合に於いて保護者、先生、会員の見守る中で贈呈式を行いました。受賞された方々がこれを励みに、日本そして世界へ大きく羽ばたいていかれることを願って激励の拍手を送りました。

- | | |
|------------------|----------------|
| * 養護教諭になりたい | 県立済々黌高等学校 Mさん |
| * 日本語教師になりたい | 県立第一高等学校 Kさん |
| * ツアーコンダクターになりたい | 県立熊本商業高等学校 Yさん |
| * オペラ歌手になりたい | 市立必由館高等学校 Nさん |



国際ソロプチミストアメリカ日本南リジョン 第28回リジョン大会

2014年4月17日(木)・18日(金)
ホテル日航熊本・熊本ホテルキャッスル



2014年4月17日

SI八代がサポートリングクラブとなり、95クラブ1316名の参加のもと、SIA理事の南玲子氏をお迎えして盛大に行われました。開会式の来賓には蒲島熊本県知事、中村八代市長、そして熊本県営業部長のくまモンをお迎えしました。

続いて各賞の表彰式が行われ、SI熊本からは田中愛里紗様がヴァイオレット・リチャードソン賞の日本南リジョン賞を受賞しました。南玲子理事より連盟報告として、「成功を測る」というテーマの講演がありました。

2日目の午前は各委員会の分科会において会員研修が行われ、他のクラブとの交流を深めました。午後からはクラブ表彰式が行われ、SI熊本はクラブギビング・キャンペーンとファイブメンバーズピンで表彰されました。

続いて全体会議にて2014-2016年期南リジョン理事会メンバーが選出され、閉会式では鹿児島が次年度の開催地と発表されました。



●ヴァイオレット・リチャードソン賞 日本南リジョン賞

受賞者:田中 愛里紗様(市立必由館高等学校)

SI熊本推薦の田中さんが、日本南リジョン賞に選ばれ、表彰されました。

●ファイブメンバーズピン 受賞者:牧 和美会員

昨年度会長として10名の入会を目標に活動し、5名の新入会員を迎えた功績により受賞となりました。



2013年度 頌彰事業(クラブ賞)

●女性に機会を与える賞(WOA)

受賞者:武内 愛子様(九州中央リハビリテーション学院)

作業療法士の資格取得を目指し、身体や障害のある方が自立的生活が出来るよう治療とサポートをしていきたいと、日々研鑽されています。

*本賞は来期より「ソロプチミスト夢を生きる賞」となります。

●女性栄誉賞

受賞者:竹下 元子様

(NPO法人「ウィメンズ・カウンセリングルーム熊本」理事長)

傷ついた女性の心と身体の回復の援助を17年間にわたって続けられ、2011年にはDV加害者を教育することでDV被害者をサポートする「熊本DVアプローチ・り・まっぷ」を九州で初めて立ち上げ、女性を守る活動を積極的に行ってています。

●ヴァイオレット・リチャードソン賞

受賞者:田中 愛里紗様(市立必由館高等学校)

校内JRC(青少年赤十字)の部長として、ネパールでの学校建設と子供たちとの交流を目標に、資源物回収や手作り物品の販売等を積極的に行ってています。*本賞は今期で最後となりました。

●社会ボランティア賞

受賞者:公益財団法人阿蘇グリーンストック様

阿蘇の草原の再生のため、阿蘇の野焼き支援ボランティア活動を行い自然保護に貢献している団体です。

●活動資金援助

受賞者:子ども支援塾ステップ様

「貧困を無くすには教育こそが大切であり、また家庭環境のため進学の機会が奪われてはいけない」との理念のもとに無償で学習支援をしている大学生ボランティアグループです。

奉仕プログラム委員会

SI熊本「夢を生きる就学援助」プロジェクト、頌彰事業(女性に機会を与える賞、ヴァイオレットリチャードソン賞、女性栄誉賞)や地域社会奉仕(DV被害者支援基金、再春荘訪問奉仕)国際支援(タイ養護施設支援、ハビタット「いのちの水」協力)など幅広く活動しました。



財務・資金調達委員会

資金調達事業として、クラブ内オークションやお取り寄せを行い活動資金を集めました。お取り寄せの品は工夫を凝らし、益々多彩になりました。



メンバーシップ委員会

今年度は10名の新入会員入会を目標に新人発掘に力を注ぎ、6名の新入会員を迎えることができました。会員総数は47名となりました。



女性と女児のためのチャリティー事業
国際ソロプチミスト熊本認証35周年記念

三遊亭好楽独演会

SI熊本にとって久しぶりの「落語会」を、ご両親が大津町のご出身という好楽師匠をお招きして開催しました。当日は、会員全員が赤や青の法被を羽織り、おもてなしの心でお客さまをお迎えしました。「笑点の裏話」から「古典落語：親子酒」まで、好楽師匠の話術に引き込まれ、会場を埋め尽くした約1000名が、まさに時を忘れるひとときを過ごすことが出来ました。

収益金は、熊本市内の女子高校生の進学を支援するSI熊本「夢を生きる就学援助」プロジェクトの資金に充てさせて頂きました。



とき 平成25年12月8日(土) 開演15:00

ところ 熊本県立劇場 演劇ホール

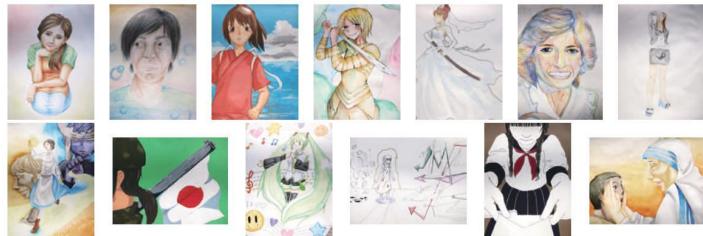
チケット代 2,000円

2013 日本南リジョン ガールズカンファレンス

2013年8月5日・6日

福岡市KKRホテル博多

九州沖縄8県から女子高校生48名が集まり、SI熊本からはマリスト学園高等学校の徳永知華さんが参加しました。将来の夢やどんな社会にしていきたいかを語り合い、個人を尊重し男女が互いの特性を生かし活躍できる社会を作ろうとの提言を発表しました。今回からは日本語のみのディスカッションとなり、活発な意見交換が行われたガールズカンファレンスでした。



第6回「夢を生きる」アートコンテスト



↑最終選考に残った寺脇早也加さんの作品

テーマ：「夢を生きる勇気を与えてくれる女性」

今年は熊本市内2高校(熊本第二高校・熊本北高校)及びやっぱ保育園から29点の応募がありました。

12月8日開催の「三遊亭好楽独演会」会場の県立劇場ロビー、3月にはパレアに於いて熊本市内4クラブ合同の展示会を開催いたしました。



今期新入会員



左より 馬場会員・吉安会員・森崎会員・絹原会員・高野会員・高橋会員

広報委員会

HP更新、イベント時の写真の撮影、報道関係者への取材依頼、顕彰事業募集についての広報、クラブ広報誌の作成、アートコンテストに応募のあった作品の展示(1.県劇ホール、2.市内4クラブ合同パレア展)などを行いました。



規約決議・SOLT委員会

毎月ミニSOLTを実施しました。今年度取り上げたテーマは「クラブで役立つソロプチミスト用語」、「WOAの意義とその効果」、「クラブ会計の基礎知識」、「ソロプチミストはなぜ女性と女児を支援するのか？」です。新入会員オリエンテーションを2回開催しました。各委員会に寄り添う委員会です。



ソロプチミスト日本財団委員会

阿蘇の草原の再生の為「阿蘇草原の野焼き」活動をしている「公益財団法人阿蘇グリーンストック」を社会ボランティア賞に、貧困を無くすためには教育が大切と学習支援をしている団体「子ども支援塾ステップ」を活動資金援助に推薦しました。



タイ・アユタヤワットサークル養護施設支援 SI熊本は、毎年ボランティアで訪れる中田 裕子さんへ 支援金を託しています。

中田 裕子さんの報告

今年も8月にワットサークルに行ってまいりました。

お寺の方針が変わり、ワットサークル学校のみならず近所の学校に通っている子ども達も寮で預かるようになって、女子寮は中学課程までの生徒だけでも560名という大所帯になっていました。先生の数も不足しており、まったく子ども達に手が行き届かないのが現状です。残念なことに私の滞在時間に余裕がなく、あまり子ども達と話すことができませんでした。

今回は、全員のあせも予防のためにベビーパウダー360個、体形の変わりつつある小学校高学年を対象に下着121枚を購入し、直接子ども達に配りました。消耗品が子ども達に直接渡される機会は少ないため、現場の先生方には毎年非常に感謝されています。皆様にくれぐれもよろしくとのことでした。私もささやかながら頑張っていくつもりです。本当に有り難うございました。

平成25年9月17日



再春荘つくし病棟訪問奉仕

毎月第1火曜日に訪問しています。昨年病棟が新築され、療育室が広くなり、ボランティールームもできました。患者の皆様とともに歌ったり様々なゲームをしながら1時間余りを過ごします。先生や看護師の方々の色々なアイデアに感心し、看護される姿には心打たれる思いです。外の世界と接する機会の少ない患者の皆様が喜んで下さるのが私達の励みであり、皆様がいつまでも元気でいて下さる事がSI熊本会員の願いです。

こんな方たちを探しています

詳しくはホームページをご覧ください

お疲れ様でした。(2013年7月~2014年6月)

- 理事会 会長 :塚本 敬子 理事(1年) :陣内 里美
会長エレクト :硯川和歌子 理事(2年) :越山 聰子
副会長 :清永 和子
R・セクレタリー :金井 朋子
C・セクレタリー :野田 珠実
トレジャラー :西岡東綺子
A・トレジャラー :牛島 紀子
- 委員長 奉仕プログラム :藤井 智子 広報 :牧野 智子
財務・資金調達 :宮岡由香里 規約決議・SOLT :井上真智子
メンバーシップ :園田 元子 ソロブチミスト日本財団 :武藤 徳子

ソロブチミスト日本財団 平成25年 年次贈呈式 2013年11月12日 新潟朱鷺メッセ

学生ボランティア賞受賞 東海大学 緑の会



全国5リジョンから会員約2200名が参加しました。SI熊本推薦の緑の会が学生ボランティア賞を受賞し、副代表の眞弓尚也さん(東海大学農学部4年)が田中千鶴子理事長より賞状を授与されました。

今回は6つの賞に82の個人・団体が表彰され、今年新設の女性研究者賞に新潟大学の杉山清佳准教授が、ドリーム賞には宇宙飛行士の向井千秋氏が選ばされました。社会貢献賞は有森裕子氏ほか4名に贈呈されました。



受賞者の方々の言葉に、夢や希望を持ち続け努力することの素晴らしさを強く印象付けられました。

お疲れ様でした!



長年にわたりSIA日本南リジョンのガバナーや、日本財団の役員を務められた谷脇ユミ子会員が、今期をもって日本財団監事を退任されました。クラブとして谷脇会員のご貢献をたたえる会を開催しました。

おめでとうございます!

武藤徳子会員が、平成26年春の叙勲で旭日小綬章を受章されました。熊本県公安委員会初の女性委員となり、公安委員長も務められた功労に対しての受章です。



よろしくお願ひいたします。(2014年7月~2015年6月)

- 理事会 会長 :硯川和歌子 理事(1年) :越山 聰子
会長エレクト :牧野 智子 理事(2年) :白瀬貴美子
副会長 :大島 純子
R・セクレタリー :高橋 享子
C・セクレタリー :西岡東綺子
トレジャラー :牛島 紀子
A・トレジャラー :宮岡由香里
- 委員長 奉仕プログラム :中山 郷子 広報 :塚本 敬子
財務・資金調達 :清永 和子 規約決議・SOLT :井上真智子
メンバーシップ :金井 朋子 ソロブチミスト日本財団 :牧 和美

